

事業所名

児童発達支援事業所 すてっぷ

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

25 日

法人（事業所）理念		「最も援助を必要とする最後の一人の尊重」「可能性の限りない追求」「共に生きる社会づくり」					
支援方針		ご利用児童、ご利用者、ご家族が可能な限り、その地域における生活が継続できることを念頭に置き、視覚支援、創作活動等の支援をとおし、日常生活における基本的動作の習得や集団生活における適応力向上を目指します。					
営業時間		10 時	00 分から	19 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	健康で文化的な生活を維持し、豊かな生活を送ることができるよう図ります。一宮ならではの自然との調和のある立地、もともとカフェだったウッディな建物と、いろんなことができそうな庭。そのような環境で、STなどの専門職と完全なマンツーマン体制で療育的支援を行っています。すてっぷの場所に慣れ、人に慣れ、時間の流れに慣れること。そこから始めて、スモールステップを重ねていきます。（発達検査等の結果の分析・検討。保護者さまの同意を得て、評価もいたします。エビデンスに基づいた療育支援の実施。）					
	運動・感覚	PT、保育士などの指導の下、自分の体の状態をよく知り、よりよいイメージをもって動かすことができるよう図ります。小さな動作・大きな動きを取り入れて、より効率的なスムーズな運動・身体操作ができることを目指します。（庭でのかけっこ・散策。いろいろな遊び・アクティビティを通して、からだを動かす機会を作ります。）					
	認知・行動	認知機能と感覚の特性とをスタッフが把握し、その児童さんにとって必要な療育を提供することを目指します。とともに、周りへの理解を促し、環境へ働きかけます。（じゃんけんの理解。概念の習得・獲得。ルールのある遊び。知育・療育的なゲーム…。「多機能型支援事業所」だからできる、異世代との交流や参加。放デイのお兄ちゃん・お姉ちゃんとの交流。）					
	言語 コミュニケーション	言語的・非言語的なコミュニケーションが成立することを期待して、ひとりひとりの利用者さまに働きかけを行います。（ST 言語聴覚士による専門的支援。SST ソーシャル・スキル・トレーニング。学習支援。個別課題。静と動 机上課題と運動との切り替え。）					
	人間関係 社会性	人と人が互いに関わり合うことができるよう図ります。自分以外の人に対する理解と許容とをもって、多人数の中で生きてゆくことを知ることができるように。小さな社会から知り、体験するところから、大きな社会へ出てゆくことを臆せずできるようになることを目指します。（SST。買い物支援。公共施設・公共交通機関の利用。社会科見学。）					
家族支援		ご相談、承ります。（家庭訪問。延長支援・預かり支援。レスパイトの計画・実施。保護者さまへの助言・提案。）			移行支援	地元の社会とともにあり、障害者福祉に対する理解と協力を深めるとともに、小学校に上がる利用者さまの背中を押す支援を行います。（地域資源との一体的な交流・参加。）	
地域支援・地域連携		関係機関各所と協働・相談できる関係を築き、相互に理解を深めてゆくことを図ります。（担当者会。引き継ぎ担当者会。保育園・幼稚園等への訪問。）			職員の質の向上	全ての職員に対して、研修・教育の機会を与え、常に向上心とプロ意識とをもって職務に当たることができるよう事業所として努力を継続します。（研修・講習会。資格試験の推奨。上級資格の取得推進。）	
主な行事等		調理実習、季節の遊び、畑仕事、近隣の施設・名所旧跡の利用（図書館、旧関川家住宅、土佐神社・しなねさま、善楽寺、国分寺、歴史民俗博物館、岡豊城址公園、弥右衛門公園、県立美術館、埋蔵文化財センター…）、外食、買い物、散歩、遠足、ドライブ、工場見学、などなど。					